

新たな総合福祉センターの 整備に関するオープンハウス アンケート結果

(たづくり 1 階南側エントランススペース)

令和7年2月

1 実施日及び実施場所

令和6年12月7日(土)11:00~14:00

文化会館たづくり1階南側エントランススペース

2 来場者数

107人(アンケート回答者42人)

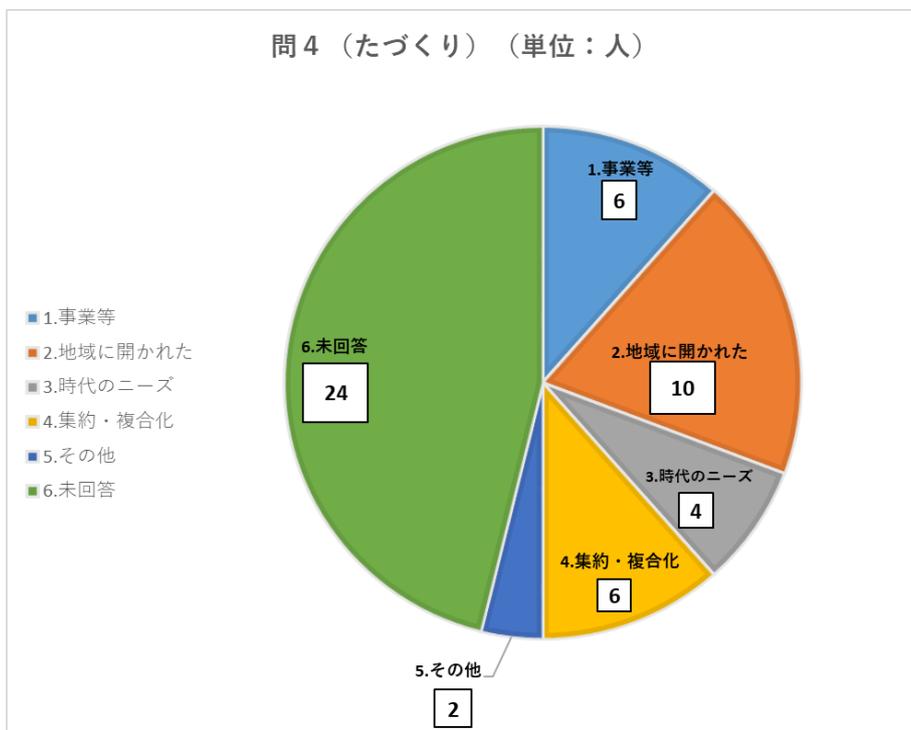
3 アンケート調査結果

【主なご意見(アンケートの自由記述)】

- ・ 地域共生社会の拠点として障害の有無にかかわらず多世代が交流できる場の創出を期待します。
- ・ 今までと同様に丁寧に手助けしてほしい。

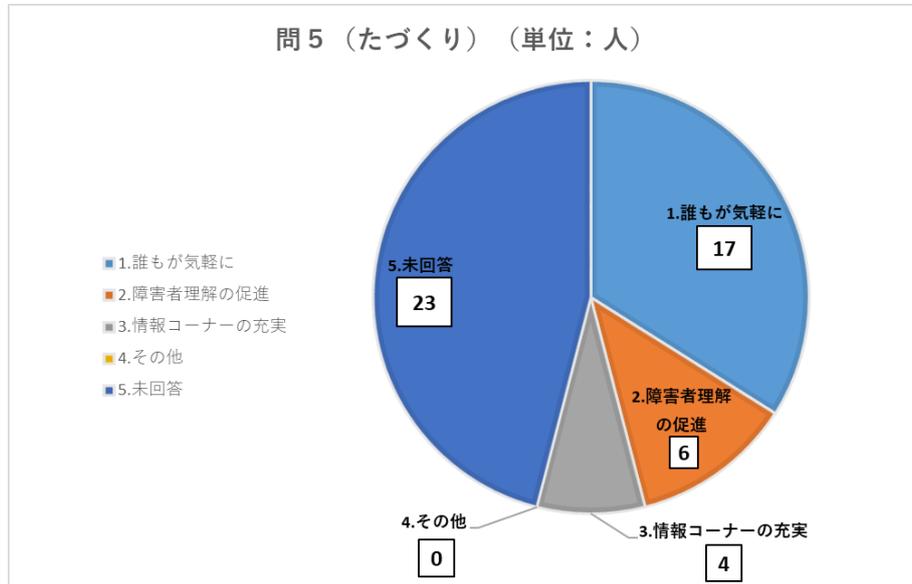
問4 総合福祉センターが移転するメリットとして、どれが重要だと感じますか。(最も当てはまるものに○をつけてください。)

1. 事業等に利用可能なスペースの充実
2. 地域に開かれた親しみやすい福祉の拠点としての施設整備
3. 時代のニーズに沿った施設機能や設備の確保
4. 集約・複合化する周辺福祉機能(医療ステーション機能・老人憩の家機能)との連携
5. その他()



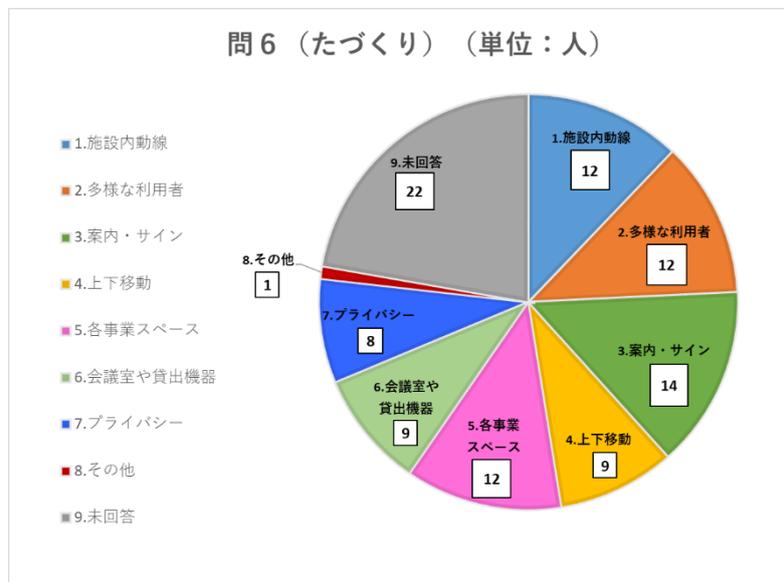
問5 新たな総合福祉センターの交流ゾーンについて、特に重要だと思う項目は何ですか。(最も当てはまるものに○をつけてください。)

1. 誰もが気軽に立ち寄れるような空間を創出
2. センター利用者の製作物の展示等による障害者理解の促進
3. イベントや事業の案内を掲示するなど、情報コーナーの充実
4. その他()
5. 未回答



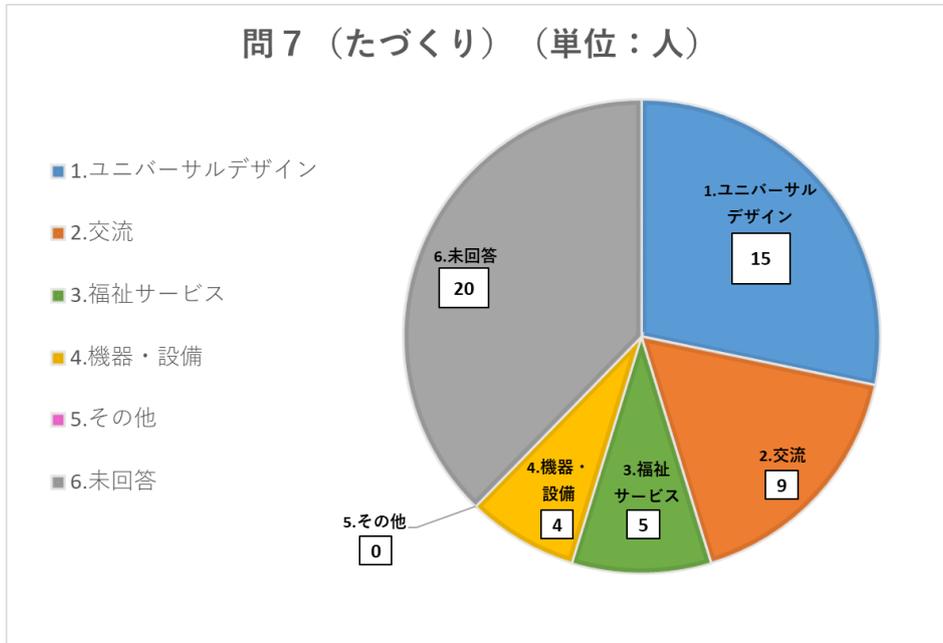
問6 新たな総合福祉センターの平面プランやイメージパースについて、重要だと思う項目は何ですか。(複数選択可)

1. 廊下等の通路幅の確保など、誰もが使いやすい施設内動線の確保
2. 高齢者や障害者をはじめとする多様な利用者に対応した多機能トイレなどの設備充実
3. 利用者が円滑に目的の場所に到達できるような案内・サインの整備
4. ストレッチャー対応のエレベータやエスカレータなど上下移動に関する設備の確保
5. 各事業スペースに関する機能や設備の充実
6. 会議室や貸出機器等の充実
7. プライバシーに配慮した相談室の確保・充実
8. その他()



問7 新たな総合福祉センターが多世代・多様な主体が交流できる地域に開かれた施設となるために、特に重要だと思う項目は何ですか。(最も当てはまるものに○をつけてください)

1. ユニバーサルデザインに基づく、誰もが使いやすい施設であること
2. 気軽に交流できる場があるなど、人々の交流が広がる施設であること
3. 福祉サービスだけでなく、日頃からにぎわいを生み出す施設であること
4. 施設を使用する際に、気軽に利用しやすい機器・設備等があること
5. その他()

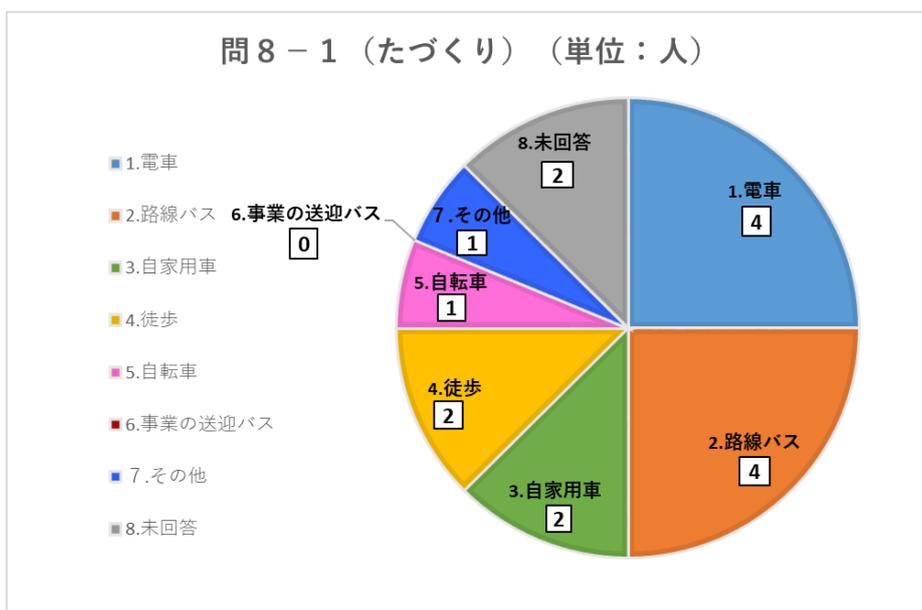


問8-1 移転後の新たな総合福祉センターを利用する際にシャトルバスを使う予定はありますか。(最も当てはまるものに○をつけてください)

1. ある 2. ない ある:9人 ない:12人

※「ない」とお答えいただいた方はどのような手段で施設まで行く予定ですか。(複数選択可)

1. 電車 2. 路線バス 3. 自家用車 4. 徒歩 5. 自転車 6. 事業の送迎バスを利用している
7. その他() 8. 未回答



問8-2 シャトルバスの運行について、特に重要だと思う項目は何ですか(最も当てはまるものに○をつけてください)

1. シャトルバスの発着場所について、利便性の高い場所であること
2. 乗車定員や車いすの乗降設備、利用者が判別しやすい車体の色など車の仕様に関すること
3. 運行時間や運行間隔に関すること
4. ドライバーや介助員による人的なサポートに関すること
5. その他()

